
支払い免許

古尾 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

支払い免許

【Nコード】

N3836I

【作者名】

古尾 光

【あらすじ】

青年は、レストランで食事をしようとするが、支払い免許の期限が切れている。免許が無ければ食事ができない、しょうがなく青年は免許の更新に行くことにした。

「おや、この免許期限が切れてますね」

青年が、レストランで支払い免許をだしたさい、店員に言われた。支払い免許は、万引きや、食い逃げを防止するための免許だ。これがないと店に入れない場合もある。何とか事情を説明し、食事を済ませる。外に出るとまだ昼間だ。今日中に更新済ませてしまおう。電車に乗るために、免許ケースから生命免許を取り出す。名前は大層だが、簡単に言えば自殺しない証明書だ。昔は、電車に飛び込み自殺する奴もいたそうだが、今はほとんどない。

試験場は駅前にある。くだらない医者問診を受け、コンピュータによる検査と、試験。全てとどこり無く終わり、解放される頃にはもう外は暗くなっていた。

ひどく疲れた青年は、居酒屋によって帰ることにした。支払い免許と、飲酒免許を店員に渡す。

「おや、この免許期限が今日までですね」

またか、そう思いつつ飲酒免許をみると、確かに期限は今日までだ。今度の休みに、更新に行くしかない。たしか、携帯電話の免許も期限が迫っているはずだ。

休日が削られる憂鬱を感じながら、安酒を飲む。

「恋人でも作るうか……」そう思ったが、恋愛免許は難関だ。果たして青年が、青年と呼べる年齢までに取れるかどうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3836i/>

支払い免許

2010年10月20日19時11分発行